

2023年度 前期2次入学試験

国語

2023年1月15日（日）実施

【注意事項】

1. 解答は必ず解答用紙の指定されたところに記入すること。
2. 問題は1ページから11ページまでです。
3. 試験開始の合図があるまで、問題を開かないこと。合図があったら、必ず解答用紙に受験番号と名前を忘れずに記入すること。
4. 問題用紙を破いたり切り取ったりしないこと。
5. いったん書いた解答を書き直す場合は、前のものをしっかり消すこと。
6. ことわりのない場合、句読点、記号などはすべて一字と数えます。
7. 問題作成上、文章の表現をかえたり、省略したりしているところがあります。

受験番号



履正社中学校

一 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

しょっぱいもの好きである。ことに漬物つけものをこのむ。この季節ならば、ぬかみそだ。実家を出た時に分かち持ってきたぬか床どこを、五年ほどは飽かず毎日かきまわし、冬はきちんと塩のふたをして冬眠とうみんさせていた。ぬか床はずっと元気だった。それからがいけない。飽きたのだ。そもそもが飽きっぽくできている。心はぬか床から離れ、よその漬物のところへ。

放っておくと、ぬかみそはだめになる。表面に白いもろもろが浮く。においが変わる。最後には世にも恐ろしい青黒い物象が表面をおおい、乳酸菌※ぶつしょう にゆうさんきんは死に絶え、静まりかえった真夜中の沼ぬまのようになり果てる。ずつしりと重いぬかみその遺骸いがいを、ポリ袋ぶくろにみちみちとつめこんで捨てる時の心の痛み。自己嫌悪けんお。そうやってぬか床を全滅めつさせては再び新しいぬか床を始め、その繰り返しをこの三十年ほどで少なくとも五回はおこなった記憶がある。今のぬか床は、三年間無事を保っている。春と秋は一日一回、夏ならば朝と晩に手を入れてかきまぜること。水が上がってきたら新しいぬか大豆を足すこと。とうがらしと昆布こんぶをたまに入れてやること。昔むかし、実家で教わったのは、① そんな原則だった。原則にしたがって長年かきまわしているうちに、② ぬか床に機嫌きげんがあることがわかってきた。四種類の機嫌である。

③ その一、「笑うぬか床」。その二、「慰懃※いんぎんなぬか床」。その三、「怒るぬか床」。その四、「さびしがるぬか床」。

「笑うぬか床」は、少し危険だ。きゅうりやなすを、しごく短時間で古漬けにしてしまう。活発すぎるのだ。腕うでまで入れると、ぬかの中心部はもわんと温かい。笑い続けている人のおなかの中みたいに、ぬかはふわふわと興奮

ぎみだ。

「慇懃なぬか床」は、ていねいに谷中生姜※やなかしょうがやら人参にんじんやらを漬つけこんでも、なかなかいい顔を見せてくれない。

ひんやりと冷たい。朝漬けて夜出したならしんなりしているはずの野菜が、いやにぱりつとよそよそしい。

「怒るぬか床」は、とにかく恐ろしい。とがったにおい。ふたを開けたとたんによつてくる不穏ふおんな空気。漬けたオクラもかぶらも、つんとした味になり果てる。そろそろ俺おれ、④昇天しょうてんしちゃいますぜ。そんなになるまでほっぽっておいした飼主かひしゅのあんたさん、ずいぶんとつれないお人でござんすね。そんな声が聞こえてきそうな、半分病気のぬか床だ。

ぬか床の機嫌は、気温とかきまぜ方でおおよそ決まる。笑い上戸になりやすいのは、真夏だ。涼すずしくなってくる、慇懃になる。かきまぜるのをさぼると、怒りだす。たえず気にかけてやらないと、だめなやつなのだ。けれども、まいすぎも、だめ。とはいえ、氣遣きづかいを忘れなければ上機嫌、というのは、人間などよりもよっぽど安らかで扱あつかいやすいではないか。

さて、四番目の機嫌の「さびしがるぬか床」。ともかくさびしがるのである。まず顔色ちがが悪くなる。濃こいはちみつ色だったぬか床が、次第しだいに沈しずんだブロンズ色になってくる。かきまわした感じも違ちがう。どんよりしている。漬ぐけ具合ぐあいだって、へんだ。一応、ぬかみそらしき味だ。大きな瑕疵※かきんはない。でもなんだか違う。うわの空でその場しのぎ、というふうな。適当にこなすけれど精一杯せいいつぱいではない、というふうな。どうしてぬか床がさびしがるのか、ずつとわからなかった。手入れをさぼるわけではない。温度のことも考えている。かきまぜ方も色々ため試している。もつと遊んでやるかと、朝昼晩さわったり。いつそのことじらしてやれと、二日ほどほうっておいたり。エビオスを投※

げこみもする。からしを入れてやりもする。でもだめなのだ。いったんさびしがり始めると、ぬか床はなかなか笑^え顔^{がお}に戻^{もど}ってくれない。⑤「よっしや漬^{しん}けまつせ」と張り切^{きり}ってくれない。

そうこうして二十数年。ようやくこのごろ、さびしがる理由がわかってきた。ある日思^しいついて、さびしいぬか床にキャベツの芯^{しん}をぽんと放りこんでみたのである。あれ、なんだかちよつと色が回復してる？ 次の日はキャベツの外葉。あらら、においがよくなったよ。それならばと、きゅうりをどんと漬けてみる。みるみる間にぬかは明度を増し、こうばしくなり、味は親密になる。なんのことはない。野菜を入れさえすればよかったのだ。いったんさびしくなったぬか床を、保護しようとしていつも、野菜を入れないようにしていた。でも違った。ぬか床を元気にさせるのは、ぬかや塩や空気といった仲間うち^{やまいも}のものではなかったのだ。ぬか界[※]ではない、よその世界のものであるきゅうり、なす、大根、人参、ごぼう、山芋、その他異質の野菜どもがまじりこんで初めて、ぬか床はさびしく依怙^{いこじ}地で心結ばれる場所から、脱出^{だつしゅつ}するのであった。⑥破顔^{はいせん}してくれるのであった。

異質のものですかい。ぬか床に向かって、わたしは話しかけてみる。⑦外の世界^{はいせき}のものがやってこないと、君はそんなにさびしいんですかい。その通り。異質のものを、俺らは排斥^{はいせき}したりしねえんです。異質なものをとりこんで初めて元気になり、その上そういう異質な野菜どもを、それまでよりずっとおいしくしてやるんですぜ。いばつた調子である。はいはい、わかったから、今夜もせいぜい色よくなすを漬けてやってくださいよ、ぬか床くん。

ほほえむように、明るい色のぬかがにおいたつ。今夜は、きんきんに冷えたビールに決まりだな。

※「ぬか床」…米ぬかに水や塩を加えて混ぜ合わせたもの。ぬかみそのこと。その中に野菜などを漬けて作った漬物がぬか漬け。

※「物象」…物の姿。「物体」とほぼ同じ意味。

※「谷中生姜」…葉シヨウガの一種。

※「エビオス」…ビール酵母こうぼから作られた栄養補給薬。

※「ぬか界」…ぬかの仲間うちの世界（筆者の造語）。後の「よその世界」と対比した表現。

※「慇懃」…丁寧ていねいで礼儀正しいこと。

※「瑕瑾」…欠点。

問一 ——— 線①「そんな原則」とありますが、その具体的内容が述べられているところを文章中からさがし、最初と最後の五字ずつをぬき出して答えなさい。

問二 ——— 線②「ぬか床に機嫌があることがわかってきた」について、

(1) ぬか床の機嫌を決めるのは何ですか。文章中から十字以内でぬき出して答えなさい。

(2) ぬか床の機嫌は、どうすればよくなるのですか。次の文の空らん にあてはまるように、文章中の言葉を用いて、二十～二十五字で答えなさい。

ぬか床に対し、すればよい。

問三

——線③「その一、笑うぬか床。その二、慇懃なぬか床。その三、怒るぬか床。その四、さびしがるぬか床。」と四種類のぬか床がありますが、次の(1)～(7)の漬物は、どのぬか床のものだと思われますか。それぞれ一～四の漢数字で答えなさい。

- (1) かきまぜるのを忘れてほうっておかれたもの。
- (2) どこが悪いというわけではないが、もう一つという味のもの。
- (3) 腐りかけているようなにおいが悪いもの。
- (4) 浅い漬け具合でもう少し漬けこんだ方がおいしくなりそうなもの。
- (5) 漬けた野菜がたくたで歯ごたえが悪いもの。
- (6) 夏の暑い時期に漬けたもの。
- (7) 涼しくなった秋になって漬けたもの。

問四

——線④「昇天しちまいますぜ」とありますが、昇天してしまったぬか床の様子を、たとえを用いて表現しているところを文章中から十二字でぬき出して答えなさい。

問五

——線⑤「よっしゃ漬けまつせ」は、ぬか床の言葉ですが、文章中には他にも同じように「」がつけられるぬか床の言葉があと二カ所あります。その最初と最後の三字ずつをぬき出してそれぞれ答えなさい。

問六

——線⑥「破顔してくれる」とありますが、これと同じ意味になるように、次の空らん□にあてはまるもつとも適当な言葉を文章中からぬき出して答えなさい。

□になる

問七 ――線⑦「外の世界のもの」とありますが、これは具体的に何をさしていますか。文章中から二字でぬき

出して答えなさい。

二 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

バラ科の植物は2500～3000種あるといわれています。

バラ科の花の特徴は三つあります。一つ目は花びらが五枚あること。二つ目は花びらが一枚ずつ分かれていること。三つ目はおしべがたくさんあること。

皆さんがよく知っている花の中でバラ科に属するのは、ア梅、イ桃、ウ桜などです。どれもAに咲く、おなじみの花ですね。梅、桃、桜は花を愛でるだけではなく、おいしい実もなります（観賞用と食用は別種ですが）。

そして、バラ科のフルーツは他にもあります。たとえば、エリンゴ、また、リンゴと同じBのフルーツで形が似ているオナシ。オレンジ色の甘い実のカビワ。ビワという名前は楽器の琵琶に形が似ているからだそうです。

ケーキによく飾り付けられているイチゴもバラ科です。ただし、イチゴはフルーツではありません。ウリ科のクメロンやケスイカと同じ野菜なのです。園芸学では木の実（木本性）は果物、草の実（草本性）は野菜に分類し

ます。イチゴは草本性ですので野菜になるのです。フルーツだと思って食べている赤い部分は茎の先端くき せんたんがふくらんだところ（偽果※ぎか）です。イチゴの実は表面に付いているつぶつぶなのです。

イチゴは「ストロベリー」と呼んだりしますが、同じ「ベリー」の付くフルーツの **コ** ラズベリーもバラ科。しかし **サ** ブルーベリーはバラ科ではなく、ツツジ科に属するフルーツです。

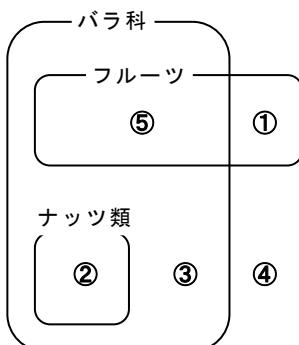
桜の花とそっくりなアーモンドの花。 **シ** アーモンドもバラ科なんですよ。アーモンドは種の部分が食用になりますのでナッツ類に分類されます。

また、バラ科の食べ物でアレルギー症しょうじょう状じょうが出ることがあります。口の中やのどのかゆみやはれ、 **C** 感かんなどの症状が出ることがあるので、注意しなければいけません。

※「偽果」：子房しぼう以外の部分が発達した果実。子房のみが発達すると「真果しんか」という。

問一 ——— 線ア～シの植物（花または実）を下の図の①～⑤にそれぞれ分類して、

①～④にあてはまったものをすべて、記号ア～シでそれぞれ答えなさい。ただし、⑤に分類されたものは答えなくてよいものとします。

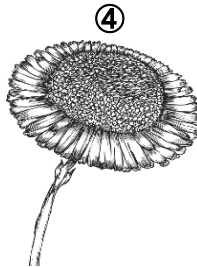
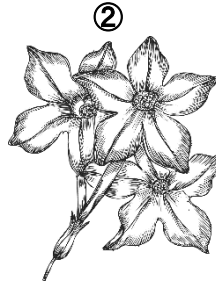
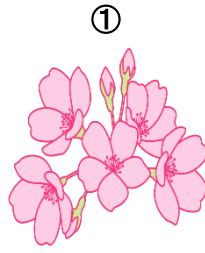


問二 空らん A・B にあてはまるもつとも適当な季節を漢字でそれぞれ答えなさい。

問三 空らん C にあてはまるもつとも適当な言葉を次のア～エの中から選び、記号で答えなさい。

ア キリキリ イ ズキズキ ウ シクシク エ ヒリヒリ

問四 次の①～④の花について、バラ科であれば○、ちがっていれば×でそれぞれ答えなさい。



問五 桜の花を詠んだ次のA～Dの短歌について、

A さくらさくら咲き始め咲き終わり何もなかったような公園

B 夕光ゆうかげのなかにまぶしく花みちてしだれ桜かがや輝たきを垂る

C うら淋さびし雨だれほどのひまおきて桜ちるなり今日を初めに

D いついつと待てればいつか木がぐれに咲き出いでし桜しづかなずるかも

(1) 一年の中で時期の早いものから並べるとどういう順になりますか。A～Dの記号で答えなさい。

(2) 次の①②の表現技法を用いた歌をA～Dの中から一つずつ選び、それぞれ記号で答えなさい。

① 体言止め（歌の最後を名詞でしめくくり余情などをあらわす技法）

② 倒置法（本来の文章の順序を入れ替え、語勢を強めたりする技法）

問六 次のAさんとBさんの会話文を読んで、後の問いに答えなさい。

Aさん 「バラ科の植物が2500種以上あるなんて、知らなかったな。」

Bさん 「梅、桃、桜もそうなんだね。」

Aさん 「梅の木が近くの公園にあるんだけど、六月頃には梅の実がなるよ。」

Bさん 「私の田舎の家の庭にも梅の木があつて、去年おばあちゃんといっしょに梅シロップを作ったよ。」

Aさん 「わあ、おいしそう！ 私も作ってみたいな。」

Bさん 「青い梅の実と同量の砂糖がいるよ。梅の実のへたを竹串でとってからきれいに洗って、完全にかわかし、あらかじめ消毒して、かわかしておいたびんに梅の実と砂糖を二、三回に分けて交互に^{こうご}いれて、ふたをしめて冷暗所においておくの。十日くらいたったらもう、飲めるよ。注意することは、砂糖を溶けやすくするために一日数回、びんをゆすることだよ。」

Aさん 「待って。メモするからもう一回言ってくれる？」

問

Aさんは会話のメモをもとに梅シロップの作り方を簡条^{かじょう}書きにしました。下の資料の空らん⁽¹⁾は十字以内で、

⁽²⁾は二十〜二十五字で、それぞれあてはまる内容を答え、梅シロップの作り方を完成させなさい。

梅シロップの作り方

材料：青梅、砂糖（青梅と同量）

手順：

- ① 使用するビン⁽¹⁾を消毒してかわかしておく。
- ② (1)。
- ③ 梅を洗ってかわかす。
- ④ (2)。
- ⑤ ふたをして、冷暗所に置く。
- ⑥ 10日くらいで飲みごろ。

注意：1日数回びんをゆする。

三 次の問いにそれぞれ答えなさい。

問一 後の①～⑤について、二つの漢字に同じ部首をつけると、別の漢字となり、それで二字熟語となります。

その二字熟語について、

(1) できあがった二字熟語の読みをひらがなでそれぞれ答えなさい。

(2) 共通して加えた部首名を次のア～コの中から選び、それぞれ記号で答えなさい。各記号は複数回の使用はできないものとします(例で用いたアについてはもう一度使用してもかまいません)。

ア	きへん	イ	にんべん	ウ	しめすへん	エ	さんずいへん	オ	りつとう
カ	おおざと	キ	まだれ	ク	したごころ	ケ	くさかんむり	コ	うかんむり

(例) 直・木↓植林

(1) しよくりん

(2) ア

- | | | | | | |
|---|-----|---|-----|---|-----|
| ① | 楽・早 | ② | 田・相 | ③ | 申・土 |
| ④ | 倉・干 | ⑤ | 去・台 | | |

問二 次の①～⑩の――線のカタカナは漢字に、漢字はひらがなに、それぞれなおしなさい。

- | | | | |
|---|----------------|---|--------------------|
| ① | 明日早朝にフナデする。 | ② | ネンリヨウ費が毎月値上がりする。 |
| ③ | 入学式でシュクジを述べる。 | ④ | 私たちには真似のできないゲイトウだ。 |
| ⑤ | アバれる子どもをなだめる。 | ⑥ | 粉雪が舞い散る道を歩く。 |
| ⑦ | ペンキで壁と柱の境目を塗る。 | ⑧ | その都度確かめてみてください。 |
| ⑨ | 計画はまだまだ流動的だ。 | ⑩ | 直ちに仕事にとりかかります。 |

問題は以上で終了です